

英会話道場イングリッシュヒルズ
基礎教材

**I'd like you to rationally wake up now as a human being
dwelling here on the earth.**

「妄想」(illusion)から目を覚ます人が、
英会話道場イングリッシュヒルズでの「本質的学習」を成就させる

生井利幸

<Message from your instructor>

To you all who are studying English here at this school, English Hills, Ginza, I have a very important message for the sake of your successful study.

I'd like you to wake up now. I'd like you to open your eyes in the presence of the essential study in order to learn and master elegant English little by little.

All you need for your successful study shall be given to you in the lessons. What you need is that you earnestly follow what I teach in the lessons.

I hope that you rationally treat this language as a “common language” of humankind as one of human beings dwelling here on the earth.

1 ほとんどすべての日本人が抱く「根拠のない思い込み」

- ・・・「英語の聞き流しだけで、ある日突然、英語が喋れるようになる」という
巨大妄想

新聞、テレビ、インターネット、雑誌等で誇大広告を出し、「CD を聞くだけで英語が喋れるようになる」という宣伝文句を掲げて販売されている英会話教材は、そのすべてが“詐欺まがいの教材”です。

今ここで、「本質」「真実」のみを教授するわたくし生井利幸は、本稿においてははっきりと断言します。

「基礎学習としてしっかりと『英語の読み・書きの学習』をすることなく、ただ CD を聞くだけで英語が喋れるようになる」ということは、“実に 100 パーセントの確率”で、決してあり得ることではありません。

「CD を聞くだけで英語が喋れるようになる」という“決まり文句”で英会話教材を販売している会社は、そのすべてが“詐欺まがいの会社”です。また、「レッスンを受けるだけで英語がペラペラになる」と誇大広告を出している英会話スクールは、実際は“真剣に教育を行っている学校”ではなく、「単に大量に生徒集めを行い、ビジネス（商売）として営利追求を行っているスクール」です。重要な認識事項ですので、以下において、表現を換えてもう一度述べます。

< 重要ポイント A >

CD で英語の聞き流しを何年続けても、「CD で聞いている英語スピーカー」のように、「学習者自身」が同じように英語が喋れるようになることはあり得ません。このような教材を売っている会社は、「ステレオタイプな一般の消費者が抱く夢」を“商売”にして消費者を食い物にしている“詐欺まがいの会社”です。

< 重要ポイント B >

一般の英会話スクールにおいて、地に足の着いた「堅実な基礎的学習」を行うことなく、単に、“雑談同様の”英会話レッスンを受け続けているだけでは、何年レッスンを受け続けても、学習者が、正しい英語を喋れるようになることはありません。

受講生の皆さん、是非、今、“目を覚ましてください”。冷静になって深い思索を試みてください。堅実な方法で「基礎的学習」を行うことをせずして、ある日突然、英語が喋れるようになることは絶対にありません。

2 「白人で金髪、鼻が高い英米人と接すると、英語がペラペラになる」という妄想は、「島国・日本」に住む日本人が持つ「精神病の一形態」である

「国際的教養・品格を備えたエレガント英語スピーカー」として確実に変貌を遂げたい当教室の受講生の皆さん、まず、以下において述べることをしっかりと認識・理解してください。

「プロの教授者ではない（英語教授法を確立していない）、一時的滞在者に過ぎない一般の英米人」からどのように英語を学んでも、“体系的に”エレガント英語を学ぶことは不可能です。

日本には、実に数多くの英会話スクールがあります。残念な事実ですが、そのほとんどすべての英会話スクールの経営者は、「真の教育」を行うために学校経営をしているのではなく、いわゆるビジネス（商売）として、英会話を“売り物”にしています。

そうした英会話スクールでは、経営者は、「白人で金髪の英米人と接すると英語がペラペラになる」という典型的日本人が抱く『妄想』(illusion)に目をつけ、誇大広告を出します。このような経営者は、誇大広告を通して「国際感覚が皆無に等しい“ステレオタイプな日本人”」を集め、学習者に対して、良心的ではない法外な受講料を払わせ、いわゆる“教育ビジネス”（商売）を行っています。

そもそも、昔から、日本人は、「外国人」（俗語ではガイジン）に弱い“人種”です。概して、多くの日本人は、「西洋人」が大好きなのです。ステレオタイプな日本人が「英会話を学ぶ」という行為からイメージすることといえば、

- 1) 「英語を喋るガイジンはカッコいい」
- 2) 「英語を喋る白人に対して憧れの気持ちを抱く」
- 3) 「ブロンド・ヘアーで鼻が高いガイジンはカッコいい」
- 4) 「自分も、人前で、アメリカ人のように英語を喋ってみたい」

などでしょう。通常、経営者は、日本人消費者がこのような固定観念・妄想がイメージできるように自分が経営するスクールを「派手な広告」で宣伝します。

通常、英会話スクールの経営者は、人件費を抑えるため、安い費用で、「英語に憧れを持つ、社会経験の乏しい若手の日本人スタッフ」を雇い、それと共に、イギリス・アメリカ等から来た「プロの教育者ではない一時的滞在者」をスクールの講師として雇います。

当教室で学ぶ「勉強に対して熱情溢れる受講生」に対して説明するには及ばないことですが、この種のスクールで行われているレッスンは、クラスレッスン、プライベートレッスンにかかわることなく、そのほとんどすべてが、「イギリス・アメリカ本国で暮らしている“普通の英米人”」でも同じようにできる「雑談同様のレッスン」です。言うなれば、このようなレッスンは、「教授のプロ」が行う本物のレッスンではなく、まさに、「素人」が行うレッスンなのです。

受講生の皆さん、このことについて、“類推的に”、逆に考えてみましょう。果たして、日本に住んでいる日本人はすべて、「しっかりとした日本語教授法」を習得し、それを確立しているのでしょうか。そして、日本人であれば誰でも、「外国人に対して“体系的に”日本語レッスンを行う能力・教養・見識等」を備えているのでしょうか。

言うまでもなく、1)「日本語を喋れる」という様相と、2)「日本語を教えることができる」という様相は、それぞれ異なる様相です。日本で生まれ育ち日本語が喋れる日本人であっても、即、「外国人に対して“体系的に”日本語を教えることができる」というわけではありません。

3 一人の人間として、「基本」「根本」を再考する

本稿では、受講生の皆さんに、1)「一人の人間として、基本の基本を考える」、そして、2)「一人の人間として、根本の根本に戻る」という趣旨で、この教材を作成しました。

基本や根本を再考すると、何らかの「本質」(essence)が見えてきます。この教材の勉強を通して、受講生の皆さんが、しっかりと地に足を着け、「地球に存する一人の人間として、『人類共通の言語』(a common language of humankind)を学ぶ」というグローバルな見識を持つことを切望します。

東京・銀座3丁目に位置する「銀座書齋」は、言うなれば、「大学院の研究室」に相当する“理性的空気感”を堅持し続けています。実際、銀座書齋は、学者出身(英米法・比較法)のわたくし生井利幸が研究・執筆を行う場所であり、同時に、国際教養塾、及び、英会話

道場イングリッシュヒルズで学ぶ塾生・受講生・弟子たちの学びの場所でもあります。

英会話道場イングリッシュヒルズ講師としての生井利幸においては、常に、「世界最高峰レベルの教授内容」を提供する準備ができています。講師においては、常に、世界レベルの教授内容を行う準備ができています（英会話道場イングリッシュヒルズ内における最高峰の学びの空間は、「世界レベルの英知・美意識」構築具現のための究極的指導を行っている英語道弟子課程です）。

言うまでもなく、「実際のレッスンの『質』(quality)」を決めるのは、受講生ご本人の問題となります。1)「“お客様気分”でレッスンを受けるのか」、それとも、2)「学問を学ぶ者としての謙虚な心を持ち、厳格な精神基盤の下、世界最高峰の教授内容を学ぶのか」、・・・そのすべて、即ち、受講するレッスンの「質」は、「受講生の心構え一つ」で大きく変わります。

本質論を述べるならば、“お客様気分”で生井利幸のレッスンを何年受講しても、「エレガント英語」を習得することは不可能であり、同時に、「国際的教養・品格」を養うことも不可能です。受講生の皆さん、今再び、「学ぶ者としての心構え」について見つめ直してみたいかがでしょうか。

「エレガント英語」、及び、「国際的教養・品格」は、長い期間にわたって相当勉強しても、そう簡単に身に付く代物ではありません。これらを習得するための“簡単な方法”は、地球上のどこを探しても一つもありません。本物を目指してこれらを学習・習得するには、一にも二にも、厳格な精神基盤を構築・維持し、「継続的努力」をし続けることに尽きます。

目標をしっかりと定め、毎日、真面目に勉強努力を続けていくならば、必ず、「改善」「発展」のための道のりを歩むことができます。「本質」と「真実」のみを教授するわたくし生井利幸は、「謙虚な心で、全力で勉強する受講生」を常に応援しています。